



unicef  for every child

(公財)日本ユニセフ協会協定地域組織／愛知県ユニセフ協会
〒464-0824 愛知県名古屋市千種区稲舟通1-39
生協生活文化会館 2 階(コープ本山2階)
☎ 052(783)7230 FAX 052(781)7191



すべての子どもの命と権利を守る

子どもの健やかな育ちを社会全体で 支援するまちの実現にむけて

愛知県ユニセフ協会 顧問
名古屋市長 広沢 一郎



愛知県ユニセフ協会の顧問を拝命しております名古屋市長の広沢一郎です。

貴協会の設立から2年半を迎えられ、これまでの間、多くの市民の皆様、学校、大学、企業などと連携し、地域に根差した細やかな活動を数多く進められており、この地におけるユニセフの支援の輪が着実に広がりを見せていると感じております。

名古屋市では、なごや子どもの権利条例の理念に基づき、

すべての子どもが、自分自身が持っている力を信じることで、その力を伸ばしながら育っていけるよう、子どもの権利を保障するとともに、子どもの視点に立ち、子どもとともに最善の方法は何かを考え、子どもの健やかな育ちを社会全体で支援するまちの実現を目指し、様々な施策に取り組んでおります。「すべての子どもの命と権利を守る」というユニセフの理念に基づく活動は、本市の子どもに関する施策の推進と根幹が同じであると考えております。

子どもは生まれながらにして、ひとりひとりかけがえのない存在であり、ひとりの人間として大切にされ、主体的に生きる権利があるということを貴協会の活動を通じて、市民の皆様理解が広まるよう、本市も引き続き協力していきたいと考えております。

貴協会の益々のご発展と関係する皆様のご活躍とご健勝を祈念いたします。

大府市と愛知県ユニセフ協会が包括連携協定を締結しました

4月4日(金) 大府市役所3階庁議室にて、大府市と愛知県ユニセフ協会との連携に関する包括協定締結式が行われました。

協定の目的

大府市と愛知県ユニセフ協会が相互に連携し、双方の資源を有効に活用した、協働による活動を推進することにより、すべてのこどもが個人として尊重され、その権利が擁護され、将来にわたり幸せな生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の構築を目的とします。

大府市市長

岡村 秀人

大府市は子育て世代への支援に力を入れるなど子ども中心のまちづくりをめざしており、人口は増え続けている。ユニセフの理念は大府市がめざすところと同じ。今日を出発点に相談しながら事業を形にしていきたい。



愛知県ユニセフ協会会長

杉山 直

子どもが健全に成長できる環境を整えることが大人の使命。出前学習会などの活動を通じて子どもの権利を広め、子どもたちの参画を促すなどの活動を通じて、大府の子どもの未来が明るいものになることを願っている。

多くのテレビ局や新聞社などたくさんのマスコミにも取材いただき、和やかな中にも熱気に満ちた締結式となりました。今回の包括連携協定は、国内では2例目、愛知県では初となります。愛知県ユニセフ協会もこのご縁に感謝しつつ、これからも世界や日本の子どもたちの命と健やかな成長を願い、子どもの権利を守るために活動してまいります。

団体賛助会員の紹介

愛知県ユニセフ協会の活動を支援していただいている企業・団体の皆さまの
世界の子どもたちに向けた想いやユニセフへのエールをご紹介します。



株式会社クレスト ジャパンホールディングス

●わたしたちクレストグループは、愛知県小牧市に本社を構え、鶏卵および豚肉の生産を中心に展開する畜産事業を中心とした食品グループです。1919年の創業以来、養鶏・養豚事業を基盤に、種豚や畜産設備の輸入、有機堆肥の製造・販売など、さまざまな領域へと事業を広げてきました。現在では、鶏卵や豚肉といった暮らしに欠かせない食材を、東海・関東・関西の三大消費地を中心に安定して届ける体制を構築しています。理念「清く、正しく、美しく」のもと、安心・安全な食の提供に努めるとともに、資源循環型農業の推進や、食品残渣を活用したリキッドフィーディング（液状飼料化）にも取り組み、環境負荷の低減を図っています。

●クレストグループを代表して、クレストジャパンホールディングスは愛知県ユニセフ協会の団体賛助会員として、募金や啓発活動などを通じてその取り組みにも関わっていきたくて考えています。私たちは持続可能な社会の実現と、すべての子どもたちの未来を支える国際的な支援にも前向きに取り組んでまいります。



最期の、ありがとう。



株式会社ティア

●私たち株式会社ティアは、「日本で一番『ありがとう』と言われる葬儀社」を目指し、1997年に名古屋市で創業いたしました。中部・関西・関東地区を中心にFC・子会社を含め年間24,000件のご葬儀を承っています。（2023年10月～2024年9月実績）

●また、お客様の人生に寄り添いたいという観点から、葬儀のみならず、日常生活におけるお困りごとの解決や、葬儀後の相続・不動産に関連する幅広いサービスの提供もスタートいたしました。

●命と向き合う事業を通じて、「互いに尊重しあい、命あるものすべてが幸せに暮らすことのできる社会」を目指しています。この想いは、「世界中すべての子どもたち公平な機会を」というユニセフの理念と深く通じるものがあります。今後もティアは、子どもたちの命と未来を守るユニセフの活動に賛同し、少しでも多くの笑顔と希望につながるよう、支援を続けてまいります。



名古屋大学 消費生活協同組合

●私たち名古屋大学生協は、名古屋大学の学生・教職員の生活を支える協同組合として1952年に設立され、以来70年以上にわたり、安心で充実した大学生活の基盤づくりに取り組んでまいりました。書籍や文具の販売からPCの販売・サポート、食堂の運営、住まい紹介、資格講座の提供など、学びとくらしを幅広くサポートしています。

●また、名大生協は単なるサービス提供者にとどまらず、組合員である学生の主体的な参画を通じて、協同・自治の精神を育む実践の場でもあります。ユニセフ募金活動をはじめ、平和・環境といった社会的課題について「知り・知らせ・考え・話し合う」活動を通じて、人と環境にやさしい大学・地域・社会づくりを進めてまいります。

●名古屋大学生協は今後も、協同の力を活かして、すべての人が安心して学び、成長できるくらしの実現に貢献してまいります。加えてユニセフの取組みに賛同し、今後も、大学生の知恵や元気を活かしながら、その活動に積極的に参画していきます。



あいち生活協同組合

●私たちあいち生協は、生協宅配システム「アイチョイス」として、愛知県と静岡県（一部）の組合員へ、安全・安心な食材を中心に宅配を専門とした生協です。国産オーガニックの推進、化学調味料（添加物である調味料アミノ酸等）不使用、商品カタログの全ての商品に原材料を公開するなど、独自のこだわりで組合員一人ひとりのくらしを応援できるよう取り組んでいます。また、環境・平和・福祉などの活動も行っており、愛知県ユニセフ協会の設立を機に、各種企画イベントの参加費の一部をユニセフ募金とする活動を始めました。

●紛争、自然災害などで大きな影響を受けるのは子どもたちです。ユニセフでは、そういった子どもたちへの、水、栄養、教育、保健、衛生、保護などの支援活動が行われています。世界では今もなお紛争が続く、子どもたちが子どもらしく健やかな成長が叶わない国や地域があります。私たちは、愛知県ユニセフ協会を通じて、そのような子どもたちへの支援ができるよう取り組んでいきます。



イベント

コープあいち被爆
ピアノコンサートに
ブース出展

2月14日(金)生活協同組合コープあいち主催「被爆・戦後80周年、コープあいち15周年記念 被爆ピアノコンサート」にブース出展しました。ユニセフブースにも多くの方が立ち寄り、「ユニセフ カレンダー募金」にたくさんのご寄付をお寄せいただきました。子ども連れのご家族など、参加された方々に思い思いにカレンダー選びを楽しんでいただくなど、会場全体が温かい雰囲気になりました。

生活協同組合コープあいち2025年度
春の職員集会にブース出展

3月15日(土)、16日(日)に名古屋市中小企業振興会館にて、コープあいち春の職員集会が開催され、15日(土)にユニセフブースの出展をしました。展示ブースでは「新しいパンフレットができたのですね」「ユニセフの活動が理解できていないので知りたかった」「募金させてもらいますね」「テレビで見ます」等、お声をかけてくださる方もおり、熱心に耳を傾けて説明をお聞きくださいました。

大府市役所1階健康ロビーにて
ユニセフパネル展開催

5月2日(金)～5月12日(月)の「春のおおぶこどもどもんなか月間」中、大府市役所1階健康ロビーにて、大府市と愛知県ユニセフ協会の包括協定締結記念としてユニセフパネル展を開催しました。ユニセフの歴史から支援活動、ウクライナやガザ、ミャンマーなど世界の子どもたちの現状や子どもの権利条約についての写真パネル等を展示し多くの市民の皆さまにお立ち寄りいただきました。



名古屋大学名大祭にブース出展

6月8日(日)名古屋大学で開催された名大祭において、南部食堂Mei-diningにて名古屋大学消費生活協同組合様のご協力をいただきブース出展しました。当日は130人ほどの皆さまに、ユニセフや世界の子どもたちの写真パネル展示、またネパールで使われている水がめを持ち、熱帯地域で使われている蚊帳に入る体験などをしていただきながらユニセフクイズに挑戦いただきました。厳しい状況におかれている子どもたちの問題について一緒に考え合う貴重な機会となりました。

第30回みなと医療生活協同組合まちづくり・
健康づくりフェスタにブース出展

3月9日(日)みなと医療生活協同組合レインボーセンターにて、「第30回まちづくり・健康づくりフェスタ」が開催されブース出展しました。会場では、様々なブースが盛りだくさんで大変な賑わいの中、ユニセフブースにも60名ほどの多くの方が立ち寄り、ユニセフクイズにチャレンジしたり、世界の子どもの状況や権利について、またユニセフの支援などについて熱心に耳を傾けてくださいました。みなと医療生協のスタッフの皆さまもユニセフについて学ばれ、応援いただきました。

第34回南医療生協 健康づくりフェス
ティバルにブース出展

3月16日(日)南医療生協病院・よってって横丁にて「第34回健康づくりフェスティバル」が開催され、初めてブース出展しました。会場では様々な催しで賑わっている中、ユニセフブースにも70名ほどの方にお立ち寄りいただき、ユニセフクイズにチャレンジし、水がめを持つ体験などをしていただきました。「そもそもユニセフって何?」の疑問や「こんな大変な環境で暮らす子どもたちがいることを改めて知り、切なくなりました」など、お声をかけてくださる方もいました。

バンテリンドーム連絡通路(ペDESTリアンデッキ)にて
愛知県ユニセフ協会主催の募金活動

5月6日(火)バンテリンドーム連絡通路(ペDESTリアンデッキ)にて、高校生ボランティアの皆さんと小学生の計13名の若者と、顧問の先生も一緒に愛知県ユニセフ協会主催の募金活動を行いました。家族連れなどで賑わう中「頑張っているね!」「ありがとう」などの優しいお声かけをくださった方、いったんは行き過ぎて戻ってきて募金してくださった方、子どもにお金を渡して募金して下さるお母さまなど、たくさんの温かい善意をお寄せいただきました。

第36回大府市図書館子どもまつりに
ブース出展

7月30日(水)おおぶ文化交流の杜allobuにて開催された「第36回図書館子どもまつり」に大府市と合同出展しました。当日は180人を超える大勢の皆さまにお立ち寄りいただき、ユニセフや世界の子どもたちの写真パネル展示、蚊帳に入る体験などをしていただきながらユニセフクイズに挑戦いただきました。家族連れが多く、ユニセフ絵本の読み聞かせにじっくりと耳を傾けてくださいました。大府市内の中高生にもお手伝いいただき、厳しい状況におかれている世界の子どもたちについて一緒に考え合う貴重な機会となりました。温かい善意もお寄せいただきました。



笑顔つながる ユニセフあいち in 大府市

大府市の学生が考える子どもの権利

～誰一人取り残されない社会を目指して～

5月31日(土) おおぶ文化交流の杜allobulにて、愛知県ユニセフ協会主催『笑顔つながるユニセフあいちin大府市』を開催しました。企画から運営まで初の高校生とのコラボ企画として、「子どもの参加・参画する権利」を実現した画期的なイベントとなり、100名を超える参加者で大盛況でした。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました！



▲HPはこちら



開会挨拶 杉山 直 愛知県ユニセフ協会会長

世界で起きている現象を見るといかに人権・子どもの権利が弱いものか。我々一人ひとりが守っていかないと直ぐに壊れてしまう。今日の機会に人権を考え、子どもたちが自由に意見や考えを表すことに大人が耳を傾けるきっかけになれば。



来賓挨拶 岡村 秀人 大府市長

大府市と愛知県ユニセフ協会は、子どもの幸せのためにめざすところは同じ。子どもの権利を広め、子どもの未来が明るいものとなるよう、4月4日に連携に関する包括協定を締結した。このイベントを通じて、子どもの権利について多くの方、市民に知っていただける契機になるといい。

タンザニアへ 救急車寄贈報告会

大府市
ライフサポート
プロジェクト代表
北瀬尚之さん



アフリカファッションショー・ アフリカ ジャンベ演奏会

AMA
アフリカ代表
浅野晴美さん



世界くらべてみたら in おおぶ (司会 福内大策さん)
フィリピン、ベトナム、ネパール、セネガル、ドイツ、デンマークの皆さん



分科会1国際協力



分科会2環境問題と 10年後の未来



プレ企画 プロギング

プロジェクトsky
代表
両角僚真さん



分科会3外国にルーツを 持つ子どもたちの人権



分科会4ユニセフ



閉会挨拶 川畑 博昭 愛知県ユニセフ協会副会長

どの国にも素晴らしいところと苦しいところがある。我々日本に住む者はその両方を受けとめる必要がある。差別のような辛い経験を覆すことを可能とする社会、覆す喜びや幸せを経験できるような様々な文化が共生できる社会の在り方を愛知県ユニセフ協会と一緒につくりたい。

団体交流コーナー、 ボランティアの 皆さん



インドネシアの伝統楽器“アングルン”の演奏体験を通じて多様性と共生を学ぼう! 楽しもう!

インドネシアday 開催しました



インドネシア留学生協会の皆さん
暑い中、本山駅から会場までの案内看板をもって立っていただきました

8月3日(日) 生協生活文化会館にて、愛知県ユニセフ協会主催 夏休み企画『インドネシアday』を開催しました。120名を超える参加者で、インドネシアの伝統楽器“アングルン”の演奏を通じて、「多様性と共生」を感じあえる素敵な空間となりました。

国や年齢、障がいの有無を超えたたくさんの皆さまの笑顔をお願いしました。



▲HPはこちら



インドネシアってこんな国!

ボンビーさん

手話を使った挨拶
フェイディさん



コープあいち マングローブ植樹 活動報告

福田さん



ユニセフ講座

ボランティア
石田さん



アングルン ワークショップ

岐阜大学 鈴木氏



アングルンワークショップ

インドネシア教育大学アルディアン氏と奥様



ハンドサイン演奏

サインに合わせて自分の持っている
アングルンを揺らすだけで演奏できます



カラーブロック演奏

カラーに合わせて演奏すれば
和音も可能に♪



アングルン共演セッション

インドネシアを知り文化に触れることで、ユニセフが大切にしている
子どもの未来を考える貴重な時間になりました



学習会

愛知県立大府東高等学校に オンライン学習会(1回目)

本山にて

1月29日(水) 愛知県立大府東高等学校1年生238名の生徒の皆さんにユニセフオンライン授業を行いました。計2回の予定で、1回目はユニセフ基礎講座を学んでいただきました。世界の子どもの現状とユニセフについて学習し、最後に「すべての子どもに〇〇を」を発表いただきました。



愛知県立大府東高等学校に オンライン学習会(2回目)

本山にて

2月12日(水) 愛知県立大府東高等学校1年生238名の生徒の皆さんにユニセフオンライン授業の2回目を行いました。1回目の授業で学んだ世界の子どもたちが置かれている現状を踏まえ、「子どもたちの権利の何が奪われているか」をグループで子どもの権利条約一覧表を見ながら理由も含めて、発表いただきました。最後のワークでは、これらの権利をすべての子どもたちが持てる世界になるために自分たちに何ができるかについて「学校全体で募金活動をする」などの言葉をいただきました。



春日井市立不二小学校にて出前学習会

3月10日(月) 春日井市立不二小学校にて、6年生148名の児童の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。不二小学校は、10年以上前からユニセフ募金に取組まれて、朝の集会では体育館と教室モニターに分けて全校の皆さんにユニセフについてお話を聞いていただきました。その後6年生のみ体育館でユニセフ講座を行い、世界の子どもたちの現状や子どもの権利条約について知り、実際に上腕計測メジャーで自分の腕を測ってみたり、プランピー・ナッツを触ってみたりしながら、募金活動で集めたお金がどう使われるのかを学んでいただきました。



名古屋市立弥富小学校にて出前学習会

5月26日(月) 名古屋市立弥富小学校にて、5年生132名の児童の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。体育館にて、最初に全員がユニセフ基礎講座とSDGsについて学んだあと、4クラスがそれぞれ4つのブースを回るグループワークを行いました。「栄養」「水と衛生」「教育」「子どもの権利」を、世界の子どもたちの状況を実感できるよう体験を交えた参加型のワークを行いました。皆さんがとても積極的で、活発に発言するなど終始活気に満ちた時間となりました。最後は「すべての子どもに〇〇を」を出し合い、自分たちにできることを考え合いました。



桜丘高等学校ボランティア部に 出前学習会

6月2日(月) 桜丘学園高等学校にて、ボランティア部の皆さん14名にユニセフ出前学習会・子どもの安全保護研修を行いました。ユニセフ基礎講座にスライドを使って説明したあと、子どもの安全保護研修一斉受講を行いました。同校の生徒さんには昨年12月に豊橋駅にてハンド・イン・ハンド募金、今年の5月にパンテリンドーム連絡通路での募金活動に活発に取組んでいただき、大きな成果を得ることができました。顧問の先生も一緒に参加され、皆さんが終始熱心に耳を傾けてくださいました。



愛西市立市江小学校にて出前学習会

6月6日(金) 愛西市立市江小学校にて、6年生38名の児童の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。最初に全員にユニセフ基礎講座とSDGsについて学んだあと、2クラスに分かれて各教室を回るグループワークを行いました。世界の子どもたちの状況が実感できるよう「水と衛生」「教育」をテーマにした体験を交えた参加型のワークを行いました。とても積極的で活発に発言する児童が多く、終始活気に満ちた時間となりました。最後に、ユニセフの仕事やどうしてユニセフで仕事をしたいと思ったのか、大変なことやうれしかったことなどをお話ししました。



コープあいち組合員へ ユニセフ学習会

本山にて

7月14日(月) コープあいち組合員活動グループ「あおいくま」の皆さま3名が、本山展示ルームでのユニセフ学習会に来訪されました。「あおいくま」の皆さまは、豊橋市地域で長年にわたりユニセフ活動をされています。展示ルームの見学も兼ねての学習会ということで、ユニセフや世界の子どもたちの現状、子どもの権利について、スライドや動画を見ながら熱心にお聞きいただきました。世界各地で起きている紛争や気候変動などで深刻な人道危機に陥っている子どもたちの現状に深く憂慮され、温かいご寄付もお寄せいただきました。「これからも少しずつだができることをやっていきたい。できることがあれば声をかけてください」とのお言葉もいただきました。



名古屋市緑区戸笠小学校にて出前学習会

7月17日(木) 名古屋市立戸笠小学校にて、6年生74名の児童の皆さんにユニセフ出前授業を行いました。最初に全員にユニセフ基礎講座を通して世界の子どもたちの状況やSDGs、子どもの権利条約について学んだあと、3クラスに分かれて各教室を回るグループワークを行いました。ワークでは実際に現地で使われている水がめを持ったり、熱帯地域の蚊帳に入る体験をしていただきながら、世界の子どもたちが置かれている厳しい環境を考える時間となりました。「すべての子どもに〇〇を」の発表では「教育と夢」「安全な生活」など現地の子どもたちの立場に寄り添った意見が相次ぎ、皆さんの優しい気持ちが伝わってきました。



ユニセフ企画展

「Poems for peace ～平和の詩」

戦争下の子どもたちが綴る平和の思い

日時：9月11日(木)～9月15日(月) 10:00～15:00

場所：ウィルあいち (あいち国際女性映画祭期間中)

SDGs子ども・ユースフェア ～アジアの環境のために～

「子ども・ユース世代の力で進めよう」

～アジアを知ろう・アジアから始めよう～

日時：10月3日(金)、10月4日(土) 10:00～17:00

場所：Aichi Sky Expo (展示ホールC)

大府市ブースにて、ユニセフコーナー設置

ユニセフラブウォーク in 愛・地球博記念公園

「子どもたちの健やかな成長を守ろう」

日時：10月4日(土) 10:00～12:30(予定)

場所：長久手 愛・地球博記念公園

(モリコロパーク) 雨天決行※荒天は中止

大府市産業文化まつり

「来て・見て・知ってユニセフを体験しよう！」

日時：10月25日(土)・26日(日)

場所：メディアス体育館おおぶ

ユニセフパネル展示・ユニセフクイズ

愛知県勤労者スポーツフェスティバル2025

「来て・見て・知ってユニセフを体験しよう！」

日時：11月8日(土)

場所：大高緑地公園(雨天中止)

ユニセフパネル展示・ユニセフクイズ

ユニセフ愛知のつどい ～想いをつなぐ遺贈寄付という方法～

日時：11月29日(土) 14:00～15:30

場所：生活協同組合コープあいち 豊橋生協会館 1階ホール

内容：ユニセフの活動・ユニセフ遺贈寄付プログラムについて(質疑応答、交流含む)

※希望者には無料個人相談(15分程度/1人)

ハンド・イン・ハンド街頭募金活動

今年のテーマ：すべての子どもに生きる希望を！

11月24日(月・振休) 名古屋市栄周辺

12月6日(土) 一宮駅前ビル1階コンコース

12月14日(日) 豊橋駅周辺

お知らせ ユニセフの輪が広がっています

マリオット・インターナショナルジャパン様からご寄付いただきました

1月24日(金) マリオット・インターナショナルジャパン様よりご寄付の贈呈式を行いました。毎年Road to Give というチャリティイベントを開催され、ホテルの従業員がコースを走るなどで募金を集めておられます。今年は、久屋大通公園で、名古屋にあるマリオットホテル(フォーポイントバイシェラトン名古屋中部空港、コートヤード名古屋、名古屋マリオットアソシアホテル、TIADホテル)の従業員の皆さんが走られ、チャリティオークションも行われました。皆さまの温かいお気持ちに心より御礼申し上げます。



愛知東邦大学様から募金をご寄付いただきました

3月6日(木) 愛知県ユニセフ協会展示ルームにて、愛知東邦大学様より募金のご寄付の贈呈式を行いました。愛知東邦大学様はこれまで外国コインを毎年ユニセフにご寄付いただいています。今年度は学内2か所に募金箱を設置し、広く学内の教員、職員、学生など全学的に募金の呼びかけを行い、コインだけではなく日本円や外国紙幣の寄付が例年よりたくさん集まったとのことでした。愛知東邦大学の皆さまに心より御礼申し上げます。



オリーブの会名古屋の皆さんからイオンギフトカードをご寄付いただきました

4月22日(火) 名古屋駅東側にて募金活動を行っている「オリーブの会名古屋」の皆さんは、毎月「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加しています。愛知県ユニセフ協会にギフトカードをご寄付いただきました。いつも活動の応援をいただいております。愛知県の出前授業やイベント出展に有効に大切にに使わせていただきます。



ユニセフ・キャラバン・キャンペーン 愛知県で開催されました

1979年の国際児童年よりスタートし、(公財)日本ユニセフ協会が全国を4年間で一巡している『ユニセフキャラバン』。前回の2021年度から4年目となる今年度は、愛知県ユニセフ協会ができて初めてのキャラバンです。5月9日(金)、13日(火)、16日(金)の3日間にわたり開催され、愛知県庁訪問や出前学習会が行われました。



愛知東邦大学様からチャリティバザー募金をご寄付いただきました

6月26日(木) 愛知東邦大学様より、経営学部学生の皆さまによるチャリティバザーの売上金をご寄付いただきました。バザーは24日(火)25日(水)の二日間行われ、規格外野菜のキュウリやバナナを1本10円以上の寄付で販売され、完売となった全額をユニセフにお寄せいただきました。愛知東邦大学の皆さまの熱意と行動力に敬意を表しますと共にたくさんの善意に御礼申し上げます。



こくみん共済coop愛知推進本部様からご寄付いただきました

7月22日(火) 愛知県ユニセフ協会展示ルームにて、こくみん共済coop愛知推進本部様よりご寄付の贈呈式を行いました。こくみん共済coop愛知推進本部様は組合員の皆さまに向けた社会貢献活動である「保障点検・たすけあいアクション」にて、保障点検ごとに寄付を積み重ねられ、この度高額なご寄付をユニセフにご寄付いただきました。こくみん共済coop愛知推進本部様の皆さまに敬意を表しますとともに、たくさんの温かい善意に心より御礼申し上げます。





栄養治療食・治療用ミルク

世界では5歳未満の子どものうち、約5人に1人が「栄養不良」です

5歳未満の子どもの死亡のほぼ半数は、栄養不良が原因とされています。子どもが一般的な感染症で命を落とすリスクを高めるだけでなく、感染症の頻度や重症度を高め、回復を遅らせてしまいます。

栄養治療食 (52.3円/個)

2025年1月現在の価格1米ドル=151円で計算

RUTF (Ready-to-Use Therapeutic Food)

重度の栄養不良状態にある子どもたちの治療のため、特別に開発された密封パック入りの栄養治療食。

1パック (92g) 当たり約500キロカロリー。

常温で2年間保存可能(開封後24時間は常温でOK)

他のフレーバーも！支援地域の食習慣を尊重しています。

例) カンボジアでは魚ペースト、

アフリカの一部国・地域ではひよこ豆ペースト等



©UNICEF/Copenhagen/2008/Dan Blair

「栄養治療食」が子どもたちに届くまで
(ニジェール、2022年公開)



治療用ミルク (589円/缶)

2025年1月現在の価格1米ドル=151円で計算

Therapeutic Milk

重度急性栄養不良の子どもたちの回復期に使用する植物性脂肪をベースとした粉末状の治療食ミルク。F-100は高脂肪(全体の約50%)で、100mlあたり100kcal。急速な体重増加を目的に使用されます。体力が極めて低いなど体調が不安定な場合はF-75(エネルギーが高すぎず、より消化しやすい)から体力の回復状況に合わせてF-100に切り替えます。RUTFでの治療前に処方されることもあります。



ユニセフの栄養支援
(エチオピア、2024年公開)



栄養不良から回復したサナドちゃん
の物語 (イエメン、2025年公開)



賛助会員へのご協力をお願いします

年会費は、日本ユニセフ協会が行う募金活動および広報・アドボカシー（政策提言）活動のほか、愛知県ユニセフ協会をはじめとする日本ユニセフ協会と協定を結ぶ地域組織の運営にも役立てられます。

オンラインでも手続きいただけます。

一般賛助会員(個人の方) …… 1口5,000円
学生賛助会員(18歳以上の方) …… 1口2,000円
団体賛助会員(企業・団体など) …… 1口100,000円



2025年7月時点の 愛知県ユニセフ協会

一般賛助会員	216名
学生賛助会員	10名
団体賛助会員	28団体
ボランティア登録人数	71名

お気軽にお立ち寄りください！ 愛知県ユニセフ協会

〒464-0824 愛知県名古屋千種区稲舟通 1-39
生協生活文化会館 2 階(コープ本山2 階)
☎ 052(783)7230 FAX 052(781)7191
E-mail : aichi@unicef-aichi.jp
<https://www.unicef-aichi.jp/>
アクセス 地下鉄「本山」駅4番出口より南へ徒歩約2分

